



# ジュネーブで安く泊まるには

日本電気株式会社 標準化推進部 エキスパート えがわ たかし  
江川 尚志



## 1. 目指せ一泊150chf以下

出張費のかなりの部分を占めるのがホテル代である。そしてジュネーブのホテル代は近年高騰を続けている。ここが節約できれば効果は大きい。その一方、ホテルの善し悪しは疲労度に大きく影響する。会合で連日修羅場が続いたとき、ホテルに湯船があるのか、シャワーのみかは重要であるし、部屋が狭いとストレッチひとつにも一苦労だったりする。最近のジュネーブの夏は30℃を超える日もあり、運悪くそうした暑さに遭遇した時にクーラーか、扇風機か、何もないのか——違いは大きい。長期の会合や、修羅場の会合のホテルを値段だけで選ぶと後悔する。本連載の第1回によれば、そうした制約の中でles Nationsや、ローザンヌ通りやコルナバン駅前のホテルを選ぶ会合参加者が多いとのこと。だが本稿ではもう少し探索範囲を広げて宿泊費節約と快適さ向上を目指してみたい。

## 2. ホテル探しの方法と留意点

ITUはホテルと契約して会議参加者向けに割引料金を提供している。ジュネーブに不慣れならば、この契約ホテルリストからスタートするのも一つの方法であろう。

そしてインターネット上には豊富なホテル情報がある。Google mapでは目的地を表示しつつ‘hotel’とたたけば周辺のホテルが表示される。結果が不満足ならばバスや地下鉄の路線図を検索し目的地との関係を頭に入れた上でホテル検索サイトを訪れれば、初めての街でもバス1本で目的地に行けるホテルを見つけることができる。幸いジュネーブは公共交通機関が発達しているし、近づくべきではない地区もない。素直にホテル探しができる。

宿泊費を節約したいなら、何を重視するかを明確にする必要がある。筆者が譲れないのは目的地（ITU）へのアクセスが便利でインターネットが会社へのVPNとwebに耐える速度であることだが、今日のジュネーブで後者が問題になることはまれである。3泊以上ならばコーヒーのための電気ポットとミルク用の冷蔵庫は欲しい。食堂やバーは無視する。ヨーロッパのホテルの朝食はパン、チーズ +  $a$  であり、その程度ならスーパーで買えば事足りるし、夕食は街で取ればよいから

である。ビジネスセンター機能が欲しいときはITUに、体を動かしたいときはITU横のVarembeスポーツセンターに行く。洗濯は市内に多数あるコインランドリーを使う。防音が十分か、湯船があるかは気になるがこだわらない。部屋が広いのは地味にうれしい。

このように優先順位をつけたとき、有力候補として浮上るのがResidenceと呼ばれるウィークリーマンションタイプの宿である。Residenceには小型キッチン（kitchenette）、冷蔵庫と食器類が必ずついており、コーヒーを沸かし冷蔵庫の牛乳を入れて飲みたいという筆者の要望は確実に満たされる。カップ麺も作れるし、ワインのコルク抜きも常備されている。食堂はあり、面倒ならそこで朝食を取ることもできる。さらにResidenceは値段の割に広いし、テラスが付いていることも多い。後述のCitadinesのようなファミリー向け物件で日曜の昼下がりにテラスでワインを飲んでみると、小さい子供が中庭で遊ぶのを見ることができ、なごむ。その一方Residenceは長期滞在を前提としているものが多く、短期だと割高になったり、滞在の最後に「部屋の清掃料金」として一定の料金が課せられ会社の経理から「これ何ですか」と聞かれたりもする。また掃除とベッドメイクが1週間に一度だったり、ゴミは共同ボックスまで自分で捨てるに行くシステムの場合もある。だが前記の優先順位では満足度は高い。

安さを追求する場合、以前はFerney-Voltaire（ジュネーブ北側のフランス領）で探すのが定石だった。だが最近は値上げやユーロ高のため価格優位性はかなり薄れている。ジュネーブ市内のホテルならば配られる市内の公共交通乗り放題券をもらえず、定期券を買う等が必要となるのもマイナスである。

Ferneyが支持されてきたのは価格もあるが、路線FのバスでITU前のバス停まで直通であること、1時間に1本ながら終バスが24時までであることも大きい。同様の条件をと考えると、ITUに隣接するNations広場には様々な路線が乗り入れており直通で行ける場所はかなり広いことに気付く。フランス領行きVやZのバスは終電が早い、15番のトラムや多くの市内バスは深夜まで運行している。これらの路線図をホテル検索サイトやGoogle Mapと見比べながら探すと掘り出し物が見つかる。



以下これまで筆者が泊まり歩いたホテルのうち、また使っても良いものを挙げる。ただし、一度しか泊まっていないものもあり、状況が変わっていた場合には容赦願いたい。

### 3. ITUまで徒歩

目的地が近いのは百難を隠す。時間が有効利用でき疲労が少ないし、他の会合参加者と食事などで一緒に行動するときも楽である。ジュネーブの地理に不慣れな方には特に心強いだらう。

#### ① Hotel Les Nations

Rue du Grand-Pré 62, 1202 Geneva

日本代表団関係者に長年愛用されているホテルである。今は四つ星の高級ホテルだが昔を知る人間には「値段が高くなっただけの、なんちゃって四つ星」と不評である。それでも「ITUへ徒歩12分」は強力で、ここならば他にも誰かが泊まっていると御助力いただいたり、作戦会議ができる可能性が高い。NHK (JSTV) も無料で見られる。



#### ② Hotel Mon-Repos Genève

Rue de Lausanne 131, 1202 Geneva



徒歩約20分で恐らくITUに最も近いResidenceである。筆者は一時期定宿としていた。改装され値上がりしたため最近は使っていないが、まあまあ広い掃除は毎日行われ普通のホテルと同じ感覚で利用できる。Residence部門とホテル部門がある。筆者はホテル部門を利用したことはないが、そちらは電気ポットもないシンプルさと聞く。

### 4. バスやトラムで1本

日本での通勤を考えれば、バスやトラム1本でITUに通えるなら十分であろう。

#### ③ Starling Residence Genève

Route des Acacias 4, 1227 Geneva



機能性重視でビジネスライクなResidenceである。ツインのResidenceは通常、食器が4人分あり週末は宴会をしたくなるが、ここは2人分である。ITUからは15番のトラムに乗りAcacias駅で降りれば目の前である。50mプールを備えたVernetsスポーツセンターが徒歩3分にある。

#### ④ Residence La Reserve

1 Avenue du Jura, 01210 Ferney-Voltaire

韓国代表団が定宿にしているFerneyのResidenceである。以前は安く、筆者の2番目の選択肢だったが改装し値上げしたため割安感は消えた。だがFFバスのバス停のすぐ前で巨大スーパーCarrefour Ferney Voltaire が近いのはやはり便利である。



#### ⑤ Citadines Genève Ferney Voltaire

34 Rue de Genève, 01210 Ferney-Voltaire



ファミリー向けResidenceの国際的チェーンで、のんびりした雰囲気が漂う。最寄りのバス停はLa Reserveと同じだがバス停から遠い。設備は古いが部屋は広く開放感がある。季節が合えば隣の牧場で牛が鳴いている。

#### ⑥ Aparthotel Adagio Genève Mont-Blanc

Rue Sigismond-Thalberg 4, 1201 Geneva

コルナバン駅から湖側に歩いて3分の、繁華街に近いResidenceである。Residenceにしては狭いが良い場所にある代償だろう。入口は少々分かりにくい。



### 5. とにかく安く

安さは正義。2、3泊程度で、楽な会合ならば設備が貧弱



でもしのげよう。冷蔵庫は当然ない。石鹸やシャンプーは持参するのがバックパッカーの常識である。

## ⑦ Ibis Geneve Centre Nations

Rue du Grand-Pré 33-35, 1201 Geneva

ITUまで徒歩12分、以前はGrand Préという名でles Nationsと並んで日本代表团によく使われた宿である。筆者は改装後の利用経験がないが、Ibisの設備はどれも一緒なので、ここも多分そうだろう。狭い部屋を機能性重視でレイアウトしてあり、部屋に余分なスペースは一切ない。日本の安ビジネスホテルをイメージすればよく、ビジネスでは身だしなみは重要なので石鹸やシャンプーはある。そしてIbisは様々なホテルを傘下に持つAccorグループであり、会員となってポイントをためればホテル代の精算に使うことができるので更にお安くなる。



はあった。温水もちゃんと出る。Fバスでフランス領に入っすぐのバス停の目の前にあり交通の便は大変良い。昼はフロントが閉まっており、その時は近くと同系列のホテルが代理を務める。

## ⑩ Hotel 33 (Trente-trois)

82 Avenue Louis-Casai, 1216 Geneva

28番のバスで空港を通過してTour de Controleで降り、歩いて5分強である。単に設備が古いだけでフロントの対応はしっかりしている。特筆すべきは部屋の広さである。1泊100chfを切るのに立派な2部屋だったのには驚いた。ここのイタリアンの食堂は安くておいしいと聞く。せめて電気ポットがあったら定宿候補なのだが。



## 6. 終わりに、気分を変えて

最後に、これまでの分類に入らない宿を二つ挙げる。

## ⑧ Hôtel Résidence du Grand-Saconnex

Route de Ferney 175, 1218 Grand-Saconnex



ITUからFか5番のバスに乗り、Grand Saconnex Placeのバス停で降りると目の前である。入り口は向かって右の階段を上る。下のレストランがフロントを兼ねている

Residenceで、万事にチープさと投げやりさと、そのための気楽さが漂う。Kitchenetteのナイフは切れない、食器の数は合わない、壁は豪快に薄い。早朝にチェックアウトするには前日に領収書をもっておく必要があるが、レストランの従業員は英語が話せないので苦勞する。それが何か？

## ⑨ Hotel Stars Genève Aéroport

Chemin de Colovrex, 01210 Ferney Voltaire

ある情報サイトに「あれも駄目、これも駄目、だがこの値段だから全ておっけー」と書かれたホテルである。泊まってみたら意外と普通であった。ネットはSwisscomで料金は高いが品質は十分だったし、シャンプーはともかく石鹸



## ⑪ Hotel de France

1 Rue de Genève, 01210 Ferney-Voltaire

オーベルージュと呼ばれるレストランが主の宿で、帰りを気にせず食事やワインを楽しむために部屋がある。部屋は簡素で古い。フロントは24hではない。予約を頼むと「ディナーの予約はいかがなさいますか」と聞かれる。ワインを飲んで普通に宴会をしたら一人約80euroであった。朝食も高いがおいしい。こうした宿としてはDomaine de Chateauxvieuxが有名だが、宿泊80chf、食事200chfだそうである。



## ⑫ Evian

本連載の第1回では早めの予約の重要性が述べられているが、ジュネーブが混むと宿が本当に取れない。筆者はあるとき、日本から満足のいく宿が見つからず、こうなれば現地で探すのが早い、と一部の日程の宿を決めずにジュネーブ入りした。ところがジュネーブ市内と近郊は全滅、ローザンヌ及びローザンヌまでの村は全て一泊3万円以上と言われ、仕方



なく水で有名なEvianから通った。レマン湖を船で横断しての通勤は楽しかったが、2時間半かかった。皆様には同じ轍を踏まれないことを。

様々なホテルを挙げてきたが、宿は好みが分かれるところである。皆様におかれては自分なりの定宿を見つけていただければ幸いである。

### ジュネーブのホテルマップ



© OpenStreetMap contributors